科目選択ガイド

1. 卒業要件の科目区分とクラスタ

本学類の卒業要件は細則の別表1に定められています.カリキュラムを学年の進行に沿って表すと表1の履修計画となります.履修計画では,1年次はほとんどが必修科目ですが,徐々に選択の幅が広がり,3年次にはほとんど全ての科目を自分で計画的に選択しなければなりません.卒業には最低125.5単位が必要です.以下では基礎科目(共通科目と関連科目),専門基礎科目,専門科目の順に履修の方法を説明しますが,その前に必修科目と選択科目の違いを理解しておきましょう.必修科目は必ず修得しなければならない科目,選択科目は特定の目的で開設される限られた科目の中から選んで履修する科目です.

本学類では専門基礎科目や専門科目として開設している科目群を,専門教育としての関連性を考慮し, クラスタという単位にまとめています.クラスタ単位に履修することで,関連した内容を有機的かつ十 分に学修できるようになっています.

本学類の開設科目名のハイフンに続くアラビア数字は同一科目の別クラスであることを示します.同一科目 (たとえば、テクスト解釈-1 とテクスト解釈-3) は重複して履修できません.また、一つの科目が複数の科目番号を持つ場合があります (たとえば、メディア社会学は GE21401 と GC20101 の 2 つの科目番号を持つ)が、備考欄に指示された科目番号 (指示がなく、GE で始まる科目番号がある場合はGE で始まる科目番号)で履修してください.個々の科目が特定の主専攻の教育課程にとってどのような役割を持つか (卒業要件のどの区分にあてはまるか) は科目の内容自体で決まります.科目番号が複数あるからと言って、同じ内容を学んだのに、ある科目番号で履修すると専門基礎科目、別の科目番号で履修すると基礎科目のように卒業要件上の区分が選択できるというものではありません.

2. 基礎科目

基礎科目は幅広く深い教養と総合的な判断力,豊かな人間性を涵養することをめざして設けられた区分で,大学生として共通に学ぶべき科目群である共通科目と学類ごとに内容を定める関連科目に分かれ,それぞれに修得単位数が定められています.共通科目の履修方法は全学で統一して定められています.

本学類の平成27年度以降の入学者は共通科目の必修科目として、総合科目IIを5単位、総合科目IIIを1単位、総合科目Iとしてフレッシュマン・セミナーを1単位と情報リテラシ実習を1単位の計2単位、体育を2単位、第1外国語(英語)を6単位、第2外国語を3単位の合計19単位以上修得することになっています。フレッシュマン・セミナー以外の総合科目Iは本来どの科目を履修しても良いことになっていますが、本学類では情報リテラシ実習(必修)を履修しなければなりません。

共通科目の体育と外国語は学類・学年ごとに曜時限・クラスが指定されており、原則として変更できません. 全学で共通科目の履修の仕方は共通していますので、履修に際しては、履修要覧と掲示を注意して読むようにして下さい.

3. 専門基礎科目

専門科目の前提として学んでおくべき基礎的な科目群を専門基礎科目といい,本学類では概ね 1~2 年次を対象に開設します. いずれの主専攻にも共通する基礎的内容です. 12 科目 22.5 単位の必修科目 すべてと 21 科目中 16 科目 (32 単位) 以上の選択科目を修得することが卒業の要件です. 専門基礎科目

の選択科目は、できるだけ多くの科目を履修するよう計画してください*.

・2 年次向けの専門基礎科目をすべて 2 年次に履修登録すると、共通科目 2.5 単位と合わせて 44 単位となり、キャップ制のほぼ上限に達します。

専門基礎科目のうち「知識と人間」クラスタの4科目は知識科学主専攻の専門領域に関わる導入的な内容,「知識とシステム」クラスタの4科目は知識情報システム主専攻の,「知識と社会」クラスタの4科目は情報資源経営主専攻の導入的科目群です. 2年次にはこれらの科目を学びながら, どの主専攻を志望するかを考えてください.

表 1 標準履修年次に基づく履修計画(2015年度(平成27年度)以降入学者用)

区	分	1年		2年		3年		4年		必要
共	温	体育 総合 I 総合 II 第 1 外国語 (英語) 第 2 外国語 (計 5 科目 15.5 単位)	1 2 5 4.5 3	体育 専門英語基礎演習 (計2科目2.5単位)	1 1.5	総合 III	1			19
		知識情報概論 哲学 情報基礎 情報基礎実習 プログラミング演習 I プログラミング演習 II 情報数学 統計 (計8科目 15 単位)	2	知識情報演習 I 知識情報演習 II 知識情報演習 III 専門英語 A (計 4 科目 7.5 単位)	2 2 2 1.5					22.5
専門基礎科目		情報社会と法制度 情報システム概説 基礎数学 A 図書館概論 (計4科目8単位)	2 2	基知量多情質情知知知量多情質情知知知更多情質情知知知更致 と	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					32
	選択			知的探求の世界I	1.5	知的探求の世界Ⅱ	1			
専門	必修					主専攻実習 専門英語 B, 専門英語 C	2 1 1	卒業研究	6	10
専門科目	選択					自主専攻の専門科目 他主専攻・学類共通の東	専門科	· 	20 8	30
	<i>J</i> / \		ı		ı		ı	知識情報特論	2	
合	計	(必修 30.5 単位)	38.5	(必修 10 単位)	40	(必修5単位)	33	(必修6単位)	14	125.5

合計欄に示した単位数は卒業に向けて必要な最小限の単位数を各学年に割り振った目安です. 上限 45 単位の範囲内で,実際には各学年でこれよりも多くの単位を修得するよう履修計画をたててください.

「知的探求の世界 I」「同 II」は、三つの狙いを持って開講されます。第一の狙いは、深い教養教育の機会の提供です。教養とは個人が社会と関わり、経験を積み、体系的な知識や知恵を獲得する過程で身につけるものの見方、考え方、価値観の総体です。知識情報・図書館学類は、多様なものの見方、考え方を学ぶ機会を提供していますが、それに対して、一つの主題領域を深く学ぶ過程を経験する機会として「知的探求の世界」を位置づけます。二つめの狙いは、カリキュラムの枠組みを超えた自由な学びの場の提供です。本学類には人文学、社会科学、理工学など多様な専門領域を持つ教員が揃っています。その多様性を活かして、カリキュラムの構成とは別に、その枠を超えた自由な教育の場として、「知的探求の世界」を位置づけます。三つ目の狙いは、教員との長い、深い接触のもとで行われる少人数教育の提供です。教育には単なる知識の伝達を超えたものの見方、考え方、知恵、技といったものの伝承という側面もあります。師と弟子のような、しかし現代的な自由な関係の中での少人数教育として、「知的探求の世界」を位置づけます。

そのため、「知的探求の世界」は各教員がカリキュラムの枠を超えて自由に特定領域を設定し、内容も方法も全く自由に構成します。しかも、教員の講義を聞いて受動的に学ぶスタイルではなく、教員のガイドのもとに学生が自分で学ぶことを基本とします。例えば、その領域の古典の講読に集中する場合もあるでしょうし、入門から発展までの講読を体系的に進めることもあるかもしれません。演習を通じてある技術を深く習得する場合もあるでしょう。「知的探求の世界」は、2年次から1年半という長い期間をかけて継続的に、入門から一定の深さに至るまでの一貫した学習ができるようにします。しかし、卒業研究が始まるまでには終わり、卒業研究と並行して履修することはありません。また、卒業研究の指導と知的探求の世界の履修は連動しません。卒業研究の指導教員は、卒業研究指導教員の決定プロセスに従って定めます。結果的に同じ指導教員になることもあり得ます。「知的探求の世界 I」「同 II」は、万人向けの内容ではないので、科目の趣旨をよく考えて受講してください。

4. 専門科目

3 年次に主専攻が決まると、自分が所属する主専攻の主専攻実習を履修しなければなりません。また専門英語 B (春 AB) と同 C (秋 AB) も必修科目です。

3~4年次には、自分の主専攻の専門科目を20単位(10科目)以上、他の主専攻の専門科目あるいは 学群共通科目(専門科目)や学類共通の専門科目から合計して8単位(4科目)以上を修得してください。主専攻ごとに17科目前後の選択科目が開設されます。他主専攻の主専攻実習は他主専攻の専門科目の一つとして(実習の定員範囲内で)履修できます。卒業に必要な専門科目の大半は3年次に履修できるはずです。4年次は知識情報特論を学期に各1科目(計2単位)と卒業研究(6単位)を必ず履修してください。4年次には多くの時間を卒業研究に使えるよう計画してください。

5. 自由に選択できる科目

卒業のために必要な 125.5 単位のうち 12 単位は、あなた自身の興味・目的に沿って自律的・計画的に 学習できます。これは 2014 年度まで「自由科目」と呼ばれていた科目区分です。外国語の学習を深めても良いでしょうし、あなたが興味を持っている他学類の専門領域を学んでも良いでしょう。本学類の専門領域を深く学ぶために専門科目や専門基礎科目を人よりも多く学ぶことも可能です。

ただし、12 単位分を履修する際、科目区分や科目ごとに卒業要件として認められる単位数の上限が決

められています. たとえば、専門基礎科目の選択科目は8単位まで(合計で40単位まで)、専門科目の選択科目は8単位まで(合計で38単位まで)が卒業要件として認められます. したがって、他の区分の科目と合わせて、12単位以上とする必要があります.

共通科目のうち、5 単位を超えて修得した総合科目 II、1 単位を超えて修得した総合科目 III、自由科目として開設される体育の単位なども、この 12 単位分に含めることができます.

関連科目については、博物館に関する科目、他学類の開設科目を含めることができます。一方、「教職に関する科目」をこの 12 単位に含めることはできません。なお、他学類の科目を履修する場合は、標準履修年次を尊重し、シラバス(他学類のシラバスは各学類の Web サイトで公開されています)で受講制限の有無や前提となる科目や知識等を良く確認してください。また初回の授業には必ず出席し、担当教員に受講の可否を確認することをお勧めします。一般に、基礎的な知識を持たずに専門性の高い科目を受講しても単位修得は困難ですし、授業形態によっては他の受講者の迷惑にもなります。

区分 カテゴリ等 上限 総合科目I 総合科目II 総合科目 III 共通科目 体育 12 国語 芸術 外国語 博物館に関する科目 関連科目 自由科目 (特設) 12 他学類の開設科目 選択科目 8 専門基礎科目 知的探求の世界 知識情報特論 専門科目 自主専攻 8 他主専攻・共通

表2 自由に選択できる科目の上限

専門基礎科目では、32 単位を超えて修得した選択科目と「知的探求の世界」を合計 8 単位まで自由に 選択できる科目に含めることができます。また、専門科目では、2 単位を超えて履修した「知識情報特 論」、20 単位を超えて履修した自主専攻の専門科目、8 単位を超えて履修した他主専攻や学群共通・学 類共通の専門科目を合計 8 単位まで自由に選択できる科目に含めることができます。

卒業研究のてびき

卒業研究とその成果物

本学類では卒業研究は必修科目であり、学士の学位を取得して卒業するために必ず通過しなければならない関門です。それと同時に、卒業研究はみなさんが初めて取り組む研究活動であり、小さいながらも知識情報学分野の研究テーマに自律的に取り組んで、その方法論的基盤を獲得することを目標にしています。

その達成プロセスとして、研究の実施、卒業論文の作成、その成果の発表がみなさんに求められます.目標達成の証拠として、みなさんが提出しなければならないものは以下の4点です.

- a. 抄録(A4 判1頁にまとめた研究成果の要旨)1部
- b. 卒業論文1部
- c. 電子版抄録(aをそのままPDFに変換したもの)
- d. 電子版卒業論文(bをそのままPDFに変換したもの)

いずれも様式と仕様が定められています。a と b は卒業論文提出期限までに、c と d はその翌日(土日祝日は含まず)までに提出しなければなりません。日程と提出場所の詳細は別途公表します。

成績評価

卒業研究に対する成績評価は通常の科目と同様にA+からDの5段階でおこなわれます.評価の前提として、

- ・着手発表会、中間発表会、最終発表会で発表していること
- ・卒業論文およびその抄録(電子版を含む)を指定日時までに提出していること

が必要です.成績評価に先立ち、まず合否判定が行われます.合否判定の第一段階は、最終発表会での発表に対して行われ、最終発表会に出席した主専攻担当教員および協力教員が「優れている」「十分」「不十分」の記名評価を行います.教員は以下の五つの判断基準のひとつ以上に該当すると判断した場合に「不十分」の判定を下します.

仕事 卒業研究として十分な作業量がない

課題 目的に対して、研究の位置づけや課題の設定に明らかな問題がある

手法 設定された課題に対して妥当な研究方法が選ばれていない

結果 結果の正確性,妥当性のいずれかに重大な疑問がある

論理 説明に飛躍や矛盾が多い

指導教員が「不十分」と判定した場合または 3 名以上の教員が「不十分」と判定した場合は再審査を実施します. 再審査では,主専攻主任が指名する 3 名の教員(原則として,指導教員,不十分判定を下した教員,不十分以外の判定を下した教員)から構成される審査委員会が,提出された論文,最終発表会での発表内容,指導教員による当該研究過程の説明を踏まえて合否判定を行います. 判断基準は同じく上記の 5 つです.

合否判定の結果や再審査の対象者名は学生には一切周知しません. 再審査は学生を交えずに実施し, 再発表や口頭試問を課すことなく合否を判断します. なお, 再審査の結果, 成績報告期限までに論文修正を求めることがあります. この場合, 期限までに要求された修正が確認できれば合格, できなかった場合は不合格(D)となります. 合格者の成績(A+/A/B/C)は論文, 最終発表, 研究過程, 再審査を経た場合は審査委員会での評価を総合的に加味して指導教員が判断します.

以上が成績評価のプロセスですが、上記の審査とは別に、指導教員の判断により、主専攻担当教員に卒業 論文の査読を依頼することがあります。査読は成績評価とは無関係な手続きで、論文に対する改善意見を第 三者から得ることを目的としています。学生は査読報告にもとづいて、期限までに必ず卒業論文を修正しな ければなりません。ただし、再審査になった場合、査読者は原則として審査委員に指名されるので、審査委 員会からの修正要求があった場合は査読報告による修正よりも優先して対処してください。

再審査における卒業論文の修正,査読に対する修正のいずれも電子版の卒業論文を更新する形で行いますが,提出済みの印刷版卒業論文と全く異なる内容にしてはいけません.許されるのはあくまで完成度を高めるための軽微な修正に限ります。自主的に修正する場合も同様です。

成果の公表

卒業論文はみなさん自身の研究成果ではありますが、指導教員や本学類の教育の成果でもあります。また、卒業研究は多くの先行研究を踏まえて行われ、それら研究成果が入手できなければ、みなさんの卒業研究の進捗に大きく影響したはずです。みなさんの研究成果を組織的に保存し、必要とする人の利用に供することは学類の理念を実践することであり、本学類を卒業するみなさんにとっては社会的な義務であるとも言えます。

そのため、本学類では次の二つの方法で成果の公表を行います. ひとつは抄録の公開です. 抄録は製本してみなさんに配布するだけでなく、本学附属図書館に納めます. また、本学類に興味を持つ、あるいはみなさんの研究テーマに興味を持つ誰もがアクセスできるように、電子版を学類の Web ページからも公開します.

第二は卒業論文本体の公表です。卒業研究をすすめるにあたって、同じ研究室の先輩の卒業論文を参考にした人は少なくないでしょう。抄録集から別の研究室で自分のテーマに近い研究が行われていたことを発見し、その卒業論文を探した人もいるかもしれません。また、研究室を決めるときに、その研究室の卒業論文を読んでみたいと思うこともあるでしょう。これまで、過去に提出された卒業論文を読む確実な方法はありませんでした。知識情報・図書館学類では、みなさんが提出した電子版の卒業論文を永続的に保存し、図書館情報学図書館内からのみアクセスできるという制限をつけて閲覧に供することとしました。想定される主な利用者はみなさんの後輩である知識情報・図書館学類生です。

なお、これから雑誌論文として投稿する等、一時的に公表を避けなければいけない事情がある場合は、論文の公表を猶予することができます。指導教員とも相談の上、論文提出と同時に公表猶予申請書を提出してください。猶予期間は原則1年ですが、経過措置として2018年度までは猶予申請を更新することができます。抄録にはそのような制度を設けていません。抄録、卒業論文ともにみなさんの著作物ですが、これから卒業研究を行う後輩たちのために、また、学類の英知を結集するために、みなさんの貴重な研究成果が必要です。本学類はこのような理由に基づき、卒業研究の蓄積と公開・公表を行うという方針を採用しています。

MEMO

資 料

(6)情報学群履修細則

平成19年4月1日 情報学群部局細則第3号

改正 平成20年情報学群部局細則第1号平成20年情報学群部局細則第2号平成22年情報学群部局細則第1号平成23年情報学群部局細則第1号平成24年情報学群部局細則第1号平成25年情報学群部局細則第1号平成25年情報学群部局細則第1号平成26年情報学群部局細則第2号平成28年情報学群部局細則第2号平成28年情報学群部局細則第3号平成28年情報学群部局細則第3号平成28年情報学群部局細則第3号

(趣旨)

第1条 この部局細則は、筑波大学学群学則(平成16年法人規則第10号。以下「学群学則」という。)第1条の2第 1項、第25条、第25条の2第2項、第28条、第31条、第33条第1項、第35条第3項、第39条及び第40 条の規定に基づき、情報学群における人材養成に関する目的その他教育研究上の目的(次条において「人材養成目的」 という。)、教育課程の編成及びその履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(人材養成目的)

- 第1条の2 学群学則第1条の2第1項の規定に基づき、情報学群では、知識と情報の記録、蓄積、共有、加工、利用といった諸活動にかかわる様々な情報技術やその原理となる科学を理解し、それらを使いこなす「21 世紀の創造を担う人材」を養成する。また、科学的、技術的な側面だけでなく、人間の知的行動や社会的・文化的基盤についても十分な知見を身につけることを目指す。
- 2 各学類の人材養成目的は、次の表のとおりとする。

学 類	人材養成目的
情 報 科 学 類	現代社会の原動力である情報を生成・伝達・変換・活用するための工学的な技術やその
	原理となる数理や自然科学を理解し、それを実社会における様々な問題に適用して解決
	する実践力を備え、グローバルな視点に立って情報技術の発展を主体的に担うことがで
	きる人材を養成する。
情報メディア創成学類	これからのネットワーク情報社会を発展させるために不可欠な基盤的技術分野や、
	Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱い流通させる分野などに
	おいて、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる技術者、研究者を養
	成する。
知識情報・図書館学類	知識や情報を活用する能力を育み、関連する社会制度と技術の専門教育を行う。これら
	の教育を通じて、知識資源の形成、加工、流通、利用の発展に寄与する専門家と人間、
	社会、技術にわたる総合的視野や問題解決能力を持った職業人を育成する。

(主専攻分野)

第2条 学群学則第25条の部局細則で定める主専攻分野は、次の表のとおりとする。

	学	类	Į.		主 専 攻 分 野
情	報	科	学	類	ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディア
情報	!メデ.	ィア創	成章	学類	情報メディア創成
知識	情報	・図書	館	学類	知識科学、知識情報システム、情報資源経営

(履修方法)

第3条 学群学則第39条第1項の部局細則で定める情報学群における主専攻分野別の「専門科目」、「専門基礎科目」及び「基礎科目」ごとの卒業に必要な履修科目及び履修単位数は、別表第1のとおりとする。この場合において、「基礎科目」のうち、「共通科目・情報」の単位については、情報科学類にあっては「専門科目」、情報メディア創成学類及び知識情報・図書館学類にあっては「専門基礎科目」の履修により修得した単位をもって充てるものとする。

(主専攻分野の選択条件)

- 第4条 学群長は、学生の主専攻分野について、学生の希望を勘案し、入学した年次終了時以降に選考を行い、学類教育 会議及び学群運営委員会の議を経て決定する。
- 2 学生が主専攻分野を選択するにあたって、あらかじめ、履修すべき授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。

(履修科目の登録の上限)

- 第5条 学群学則第33条第1項の部局細則で定める履修科目の登録の上限は、45単位とする。ただし、編入学を許可された者の履修科目の登録の上限は、入学した年に限り55単位とする。これらの場合において、「教職に関する科目」は、この単位数に含めない。
- 2 学群学則第33条第2項の部局細則で定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる場合の要件及び単位数は、次の表のとおりとする。

学 類	要件	単位数
情 報 科 学 類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上	5 5 単位
	修得し、その60%以上が「A+」又は「A」である者	
	(2) 学類長が特別な事情があると認めた者	
情報メディア創成学類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上	5 5 単位
	修得し、履修申請を行った全科目の単位数(ただし教職に関する	
	科目は除く) の60%以上が「A+」又は「A」である者	
	(2) 学類長が特別な事情があると認めた者	
知識情報・図書館学類	(1) 前年度において卒業の要件として必要な単位を40単位以上	5 5 単位
	修得し、その70%以上が「A+」又は「A」である者	
	(2) 学類長が特別な事情があると認めた者	

(成績の評価)

- 第6条 学群学則第35条第3項の部局細則で定める合格及び不合格の評語を用いることができる授業科目は、「フレッシュマンセミナー」及び「グローバルチャレンジ演習」とする。
- 2 学群のGPA制度における学期GPA及び累積GPAの対象から除かれる科目は、次の表のとおりとする。

学 類	学期GPA及び累積GPA対象除外科目
情 報 科 学 類	基礎科目-関連科目
情報メディア創成学類	関連科目-自由科目
知識情報・図書館学類	なし

(早期卒業)

第7条 学群学則第40条に規定する早期卒業の対象者及び基準は、次の表のとおりとする。

学 類	対 象 者	基準
情報科学類	2年次終了時において卒業の要件として必要な単位を 85単位以上修得し、かつ、成績が上位10%以内に ある者について、卒業の見込み等を総合的に勘案して 判断する。	3年以上在学し、卒業要件と して定めている126単位を 修得した者
情報メディア創成学類	2年次終了時において卒業の要件として必要な単位を 85単位以上修得し、その90%以上が「A+」又は 「A」である者について、卒業の見込み等を総合的に 勘案して判断する。	3年以上在学し、卒業要件と して定められた所定単位を修 得すること。
知識情報・図書館学類	秋学期終了時において卒業の要件として必要な単位を 90単位以上修得し、成績が上位3位以内である者	卒業研究の内容が優秀である と認められた者

(雑則)

第8条 この部局細則に定めるもののほか、主専攻分野の選択時期、卒業研究の選択及び提出時期その他学類における授業科目の履修に関し必要な事項は、学類教育会議の議を経て、学類長が定め、学内に公示するものとする。

附則

この部局細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平20.1.16情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成19年度入学者にあっては、この部局細則による改正後の別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平20.4.1情報学群部局細則2号)

- 1 この部局細則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

附 則(平22.2.18情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

附 則 (平23.2.17情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

附 則 (平24.2.15情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

附 則 (平25.1.16情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

附 則(平25.11.13情報学群部局細則2号)

- 1 この部局細則は、平成25年7月1日から施行し、同年4月1日から適用する。
- 2 平成24年度以前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

附 則 (平26.1.15情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

附 則 (平26.12.24情報学群部局細則2号)

- 1 この部局細則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、改正前の筑波大学情報学群履修細則第2条の規定により、主専攻を情報経営・図書館とする者にあっては、改正後の筑波大学情報学群履修細則第2条の規定により、主専攻を情報資源経営とする者とする。

附 則 (平28.1.27情報学群部局細則1号)

- 1 この部局細則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

附 則 (平28.6.8情報学群部局細則2号)

- 1 この部局細則は、平成28年6月8日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、改正後の筑波大学情報学群履修 細則第6条第1項の規定を除き、なお従前の例による。

附 則 (平28.12.6情報学群部局細則3号)

- 1 この部局細則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この部局細則の施行前に情報学群に入学した者に適用される履修方法等にあっては、なお従前の例による。

				卒	業に	必要な履	修	科 目 及	び修得単	单位 娄	女							
主									基	礎	科		目					
専攻		門 科	目	専門	基礎	科 目		共	通 科	目		Į.	車	科 目		計		合
分野	必	単 選択 位 料	単 自 単 位 A 日 数 目 数	修 科	単位数	選 単 択 位 科 1 数	自由科目数	必 修 科 目	単 選 位 料 目	位	由 科 位	必修科目 数	選 択 科 目	単自由科目	単 必 修 科 数 目	択科	自由科目	計
知識科学		6 G E 6 1 1 2 G A 4 G E 4 G E 7 G E 8	8~16	- 情報基礎 情報基礎実習 プログラミング演習 II で		A 1 32~40 E 2 0~8		総合科目 I (フレッシュマを) は合計 目 II 総合科目 II 体育 第1	2 総合科目 II 総合科目 III を合科目 III 5 体介 国語 2 国 表 新	0~12			GA、G E、共通で表 民 関 に 関 以外	0~12 —	— 51	. 5 74	0	125. 5
知識情報システム		10 6 GE7 1 1 2 GA4 GE4 GE6 GE8	20~28 - -	- 情報基礎 情報基礎実習 プログラミング演習 I プログラミング演習 I 情報数学 統計 哲学 知識情報概論 専門英語 A 知識情報演習 I 知識情報演習 II	2 2	32~40 A 1 32~40 E 2 0~8	0	総合科目 I (フレッシューをきむ) 総合科目 II 総合科目 II 総合科目 II (本育 第1 外国語 (英語 外国語 (初修外国 語))		$0 \sim 12$ $0 \sim 12$ $0 \sim 12$	0		GA、G E、ス 通 の 科 数 る 科 も 以 外 を 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	0~12 0~12 —	0 51 - 51	. 5 74	0	125. 5 125. 5

								卒	業	に 必 要	な	履	修	科 目 及	Ü	修得単	位	数										
主専		車	F	月 科	目			専門	基	礎 科 目						基	硈	ķ Ē	科		目					計		
専		'1			H			4 11	<u> </u>	#XC 111 F				共		通 科	目			厚		科	目					合
分分	必	単	1	選	単	自	単	必	単	選	単	É			単	選	単	自単			選	単		単	必	選	自	1
野	11念	位		択	位	由	位	修	位	択	位	I E	1.11/	修	位	択	位	由位	修	417	択	位	由	位	修	択	由	計
	科目	数	-	科目	数	科目	数	科 目	数	科目	数	彩目		· 科 · 目	数	科目	数	科目数	· 科		科目	数	科目	数	科目	科目	科目	
-	卒業研究		-	E 8	20~28		女 一	情報基礎		GA1	32~40	_	1 50	· 総合科目 I		総合科目I	∞ 0~12	口 5			GA, G	∞ 0~12			51.5	74		125. 5
	専門英語B		1		20 20			情報基礎実習		GE2	02 1			(フレッシュマ		総合科目Ⅱ					E、共通科	0 11			01.0	, ,		120.0
	専門英語C		1					プログラミング演習Ⅰ	2					ン・セミナーを 含む)		総合科目Ⅲ					目、及び教 職に関する							1
	情報資源経	计	2					プログラミング演習Ⅱ	2					総合科目Ⅱ	5	体育					科目以外							1
	実習		G	A 4	8~16			情報数学	2	GE3	0~8	3		総合科目Ⅲ	-	外国語												1
情			G	E 4				統計	2					体育	2	国語												1
報			G	E 6				哲学	2					第1外国語	6	芸術												1
資			G	E 7				知識情報概論	2					(英語)														1
源経								専門英語A	1.5					第2外国語	3													1
営			知	職情報特論	2			知識情報演習I	2					(初修外国 語)														1
								知識情報演習Ⅱ	2					HD/														1
								知識情報演習Ⅲ	2																			1
																												1
																												i l
	単位合計	1	.0		30∼38		0	4	22.5		$32 \sim 40$)		0	19		$0 \sim 12$		0	0		$0 \sim 12$:	0	51.5	74	0	125. 5

- (注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
 - 2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
 - 3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
 - 4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているもののうちから、「基礎科目(共通科目)の履修方法」に従って履修する。
 - 5. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計5単位を必修とする。
 - 6. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「専門英語A」に相当する科目を履修したもの に係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。

専門英語 A 1 単位

- 7. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、第1外国語として英語以外の外国語の選択を認めることがある。 外国語として「日本語」が認められた場合の第1外国語の卒業に必要な修得単位数は、4.5 単位とする。
- 8. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、第2外国語又は外国語として「日本語」の選択を認めることがある。
- 9. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している(卒業に必要な未修得単位が35.5単位以下となっている)こととする。

								業	に 必 要	更な	履	修	科 目 及	び	修得単	位	数											
主専															基	礎	<u> </u>	₹	料		目							-
専攻	専		門 科	目			専門	基	礎 科 [B			共		通 科	目				艮	連	科	目			計		合 3
分野	必 修 科 目	単位数	選 択 科 目	単位数	自由科目	単位数	必 修 科 目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	1立	必修科目	単位数	選 択 科 日	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	田林田田	計 計 ,
	卒業研究	6	GE6	20~28		_	情報基礎	2	G A 1	32~4		-	総合科目I	2	総合科目I	0~12	_	_	_	_	GA, G	0~12		_	51.5	74	0	125. 5
	専門英語 B 専門英語 C 知識科学実習	1 2					情報基礎実習 プログラミング演習 I プログラミング演習 Ⅱ	1 2 2	GE2				(フレッシュマン・セミナーを含む) 総合科目 II	5	総合科目 II 総合科目 III 体育						E、共通科 目、及び教 職に関する 科目以外							I
			G A 4 G E 4	8~16			情報数学 統計	2	GE3	0~	8		総合科目Ⅲ 体育		外国語 国語													3
知 識 科			G E 7 G E 8				哲学 知識情報概論	2					第1外国語(英語)	6	芸術													
学			知識情報特論	2	-		専門英語 A 知識情報演習 I 知識情報演習 I 知識情報演習 II	1. 5 2 2 2					第2外国語 (初修外国語)	3														i i i i i i i i i i i i i i i i i i i
	単位合計	10		30~38		0		22. 5		32~4	0	0)	19		0~12		0		0		0~12		0	51.5	74	0	125. 5
	卒業研究	6	GE7	20~28	-	-	情報基礎	_	G A 1	32~4	0 -	-	総合科目 I	2	総合科目I	0~12	_	-	-	-	G A 、G E 、共通科	0~12	-	—	51.5	74	0	125. 5
	専門英語 B 専門英語 C 知識情報シス	1 2					情報基礎実習 プログラミング演習 I プログラミング演習 II	2 2	G E 2				ン・セミナーを 含む) 総合科目 II	5	総合科目 II 総合科目 III 体育						日、及び教 職に関する 科目以外							
知識情	テム実習		G A 4 G E 4 G E 6	8~16			情報数学 統計 哲学	2 2	GE3	0~	8		総合科目Ⅲ 体育 第1外国語	2	外国語 国語 芸術													
報システ			G E 8				知識情報概論 専門英語 A	2 1. 5					(英語) 第2外国語	3														
テム			知識情報特論	2			知識情報演習 I 知識情報演習 I 知識情報演習 II	2 2					語)															
	単位合計	10		30~38		0		22. 5		32~4	0	0)	19		0~12		0		0		0~12		0	51.5	74	0	125. 5

							卒	業	に 必 要	なり	愛	修	科目及	Ü	修得単	位	数									
主専	車	[門 科	E .			専門	基	礎 科 目						基	礎	<u>k</u>	科		目				言	+	
専 攻													共		通 科	目			B			目				合
分分	必	単	選	単	自	単	必	単	選	単	自	単		単	選	単		单 必		選	単	自身				
野	修 科	位	択科	位	由科	位	修 科	位	択科	位	由科	位	修科	位	択科	位	由和	2 修科	417	択科	位	由 位				3十
	目	数	目	数	目	数	目	数	目	数		数		数	日日	数		女目		目	数	目数				
	卒業研究	/// *	GE8	20~28			情報基礎		G A 1	32~40		_	総合科目I		総合科目I	0~12				GA, G	0~12	- //	- 51		74	0 125.5
	専門英語B	1					情報基礎実習	1	G E 2				(フレッシュマ ン・セミナーを		総合科目Ⅱ					E、共通科 目、及び教						
	専門英語C	1					プログラミング演習 I	2					含む)		総合科目Ⅲ					職に関する						
	情報資源経営	. 2					プログラミング演習Ⅱ	2					総合科目Ⅱ	5	体育					科目以外						
	実習		G A 4	8~16			情報数学	2	G E 3	0~8			総合科目Ⅲ	1	外国語											
情			G E 4				統計	2					体育	2	国語											
報資			GE 6				哲学	2					第1外国語	6	芸術											
源			G E 7				知識情報概論	2					(英語)													
経							専門英語A	1.5					第2外国語 (初修外国	3												
営			知識情報特論	2			知識情報演習I	2					語)													
							知識情報演習Ⅱ	2																		
							知識情報演習Ⅲ	2																		
	単位合計	10		30~38		0	:	22. 5		32~40		(19		0~12		0	0		0~12		0 51	. 5	74	0 125.5

- (注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
 - 2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
 - 3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
 - 4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているもののうちから、「基礎科目(共通科目)の履修方法」にしたがって履修する。
 - 5. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計5単位を必修とする。
 - 6. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「専門英語A」に相当する科目を履修したもの に係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。

専門英語A 1単位

- 7. 知識情報・図書館学類長が教育上有益と認める場合は、この表の規定にかかわらず、第1外国語として英語以外の外国語の選択を認めることがある。
- 8. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している(卒業に必要な未修得単位が35.5単位以下となっている)こととする。

(注:平成27年度以降の開講形態に合わせて修正)

							卒	業	に 必 要	な	履修	科	目 及 び	・ 修	得	単 位 数										
主	_	_		_	_		÷			_						基礎	₹	4	目							
専攻	車	7	門 科	E	∄		専門	基	礎 科	∄			共		通	科 目			関	連	科目		-	計		合
分野	必 修	単	選 択	単	自由	単	必 修	単	選 択	単	自由	単	必 修		tD.	自由	単	6.6m	単規	a .	自由	単	必修	選択	自由	=1
±ľ	科	位	科	位	科	位	科	位	科	位	科	位	科		科 1	科	位	科	1111	1111	科	位	科	科	科	計
	<u> </u>	数	<u> </u>	数	目	数	<u> </u>	数	目	数	目	数	目		目 梦	女 目 かんむ ロバ	数	目	数目	数	■	数	目	目	目	105.5
	卒業研究	6	GE6	20	GE4	0~8	情報基礎		GE2 GA	32	GE2	0~8	総合科目 I	2	- -	- 総合科目I		_	- -	- -	G A 、G E、共通科	0~12	51.5	62	12	125. 5
	専門英語B	1			GE6 GE7		情報基礎実習	2	G A		GE3		ン・セミナーを 含む)			総合科目Ⅱ					目、及び教					
	専門英語C	1			GE /		プログラミング演習Ⅰ	2			G A			6		体育	0~12				職に関する 科目以外					
	知識科学実習		G E 4	8	GE8		プログラミング演習 Ⅱ 情報数学	2					総合科目 II 体育	2		外国語 国語					11 = 3.7.					
			GE7	٥			統計	2					第一外国語	6		芸術										
知			GE8				哲学	2					第一外国品 (英語)	Ü		ر ۱۳۱۰										
識科			G = 0				知識情報概論	2					第二外国語	3												
科学			知識情報特論	2			専門英語A	1. 5					(初修外国語)													
							知識情報演習I	2					亩)													
							知識情報演習 Ⅱ	2																		
							知識情報演習Ⅲ	2																		
	₩ A A A	10		30		0~8		22. 5		32		0~8		19		0	0~12		0		1	0~12	51.5	62	10	125. 5
-	単位合計 卒業研究		G E 7				情報基礎		GE2			-	総合科目I	2		□ - 総合科目[]	0~12		U		GA, G		51.5	62		125. 5
	中来训究 専門英語 B	1	G E /	20	GE6	0.0	情報基礎実習		G A	32	GE3	0.00	(フレッシュマ	۷	_ -	総合科目Ⅱ					E、共通科	0.012	31.3	02	12	123. 3
	専門英語 C	1			GE7		プログラミング演習I	2			G A		ン・セミナーを 含む)			体育					目、及び教 職に関する					
	知識情報シス	2			G E 8		プログラミング演習Ⅱ	2					総合科目Ⅱ	6		外国語	0~12				科目以外					
知	テム実習		GE4	8			情報数学	2					体育	2		国語										
識			GE6				統計	2					第一外国語	6		芸術										
情報			GE8				哲学	2					(英語)													
報シ				2			知識情報概論	2					第二外国語 (初修外国	3												
ス			知識情報特論	2			専門英語A	1.5					語)													
テム							知識情報演習I	2																		
							知識情報演習Ⅱ 知識情報演習Ⅲ	2																		
							和越情報與自血																			
	単位合計	10		30		0~8		22. 5		32		0~8		19	•	0	0~12		0	()	0~12	51.5	62	12	125. 5

								卒	業	に 必 要	な	履修	多 科	目 及 び	ド値	多省	导 .	単 位 数										
主専	F	į.	門	科	目			専 門	甘	. 礎 科	目							基 礎	Ŧ	4	目					計		
専	-							4 11	巫	: WE 14				共		通		科 目			関	連	科 目					合
攻分野	必 修	単	選択		単	自中	単	必 修	単	選択	単	自	単	必 修	単	選択	単	自由	単		単 選		自	単	必	選択	自	
野	16 科	位	科		位	由 科	位		位	科	位	由科	位	16 科	位	扒科	位	由科	位	修科	立 折	11/	由科	位	修 科	科	由科	計
	目	数	目		数	目	数	目	数	目	数	目	数	目	数	目	数	目				数	目	数	: 目	目	目	
	卒業研究	6	G E 8		20	GE4	0~8	情報基礎		G E 2	32	G E 2	0~8	総合科目I	2	_	_	総合科目[]		-	- -	- —	GA、G E、共通科	0~12	51.5	62	12	125.5
	専門英語B	1				GE6		情報基礎実習	1	G A		G E 3		(フレッシュマ ン・セミナーを				総合科目Ⅱ					日、及び教					
	専門英語 C	1				GE7		プログラミング演習I	2	!		G A		含む)				体育	0~12				職に関する					
	情報資源経営	2				GE8		プログラミング演習Ⅱ	2	<u>!</u>				総合科目Ⅱ	6			外国語					科目以外					
	実習		GE4		8			情報数学	2	4				体育	2			国語										
情			GE6					統計	2					第一外国語 (英語)	6			芸術										
牧 資			GE7					哲学	2					第二外国語	_													
報資源経営			知識情報特	l± ≘∆	2			知識情報概論	1.5					(初修外国	3													
経営			和誠情報1	1寸 i冊	_			専門英語 A 知識情報演習 I	1. 5	-				語)														
								知識情報演習Ⅱ	2																			
								知識情報演習皿	2																			
								MINITED	_																			
	単位合計	10			30		0~8		22. 5		32		0~8		19		0		0~12		0	0		0~12	51.5	62	12	125. 5

- (注) 1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
 - 2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
 - 3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
 - 4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているもののうちから、「基礎科目(共通科目)の履修方法」にしたがって履修する。
 - 5. 総合科目Ⅱについては、科目群A及び科目群Bのそれぞれから2単位を含む合計6単位を必修とする。
 - 6. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「総合科目」、「専門英語A」に相当する科目を履修したものに 係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。

総合科目 I 及び II 8単位 専門英語 A 1単位

- 7. 卒業研究の履修に当たっては、卒業に必要な履修科目の中から合計90単位以上修得している(卒業に必要な未修得単位が35.5単位以下となっている)こと。
- (注 平成27年度以降の開講形態に合わせて修正)

教職課程(教科に関する科目)

情報学群 知識情報 · 図書館学類

免	免許法に規定す	ナる科目				
許教科	数約1ヶ間よっか口	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教科に関する科目	中学校				
	日本史及び外国史	1以上	日本史及び外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論*, ◎東洋の歴史と文化* (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (知識情報・図書館学類開設) 日本図書学, 中国図書学, 図書館文化史論		
社	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学(地誌を含む。)	(地球学類開設)◎人文地理学,◎地誌学(知識情報・図書館学類開設)教育文化政策		
	「法律学,政治学」	1以上	「法律学,政治学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論A, 図書館情報法制度論		
会	「社会学,経済学」	1以上	「社会学,経済 学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 情報経済論, 経営・組織論		
	「哲学,倫理学,宗教学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論		
	合 計 (中学一種)	2 0				

⁽注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報 · 図書館学類

		1 7 75				
免	免許法に規定す	片る科目				
免許教科	教科に関する科目	最低修得単位数	区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教件に関りる付日	高等学校				
	「法律学(国際法を含む。),政治学(国際政治を含む。)」		「法律学(国際 法を含む。),政 治学(国際政治 を含む。)」	◎情報法,		
公民	「社会学,経済学(国際経済を含む。)」	1以上	「社会学,経済 学(国際経済を 含む。)」			
	「哲学,倫理学,宗教 学,心理学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論, メディア教育の実践と評価		
	合 計 (高校一種)	2 0				

⁽注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報·図書館学類

免	免許法に規定	でする科目					
免許教	教科に関する科目	最低修行	导単位数	区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教件に関する件目	中学校	高等学校				
	代数学	1以上	1以上	代数学	(知識情報・図書館学類開設) ◎基礎数学 B, 情報数学		
数	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設)		
	解析学	1以上	1以上	解析学	(知識情報・図書館学類開設) ◎基礎数学 A (情報科学類開設) 数値計算法, 解析学Ⅲ, 複素関数論		
学	「確率論,統計学」	1以上	1以上	「確率論,統計学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎統計, 多変量解析, データマイニング		
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(知識情報・図書館学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, 知識情報演習Ⅲ		
(合 計中学一種,高校一種)	2 0	2 0				

⁽注) 本学における開設授業科目の欄中, ②の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報 · 図書館学類

ID TIM	一十	n 1 /A				
免	免許法に規定す	ナ る科目				
免許教	最低修得単位数 区 分 教科に関する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備	考
科	教件に関する件目	高等学校				
	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び情 報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論		
情	コンピュータ及び情報 処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ及 び情報処理(実 習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎プログラミング演習 I , データ表現と処理, コンピュータシステムとネットワーク		
	情報システム(実習を 含む。)	1以上	情報 システム (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報検索システム 情報システム概説, データベース概説, 自然言語解析基礎		
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1以上	情報通信ネット ワーク (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎Web プログラミング, クラウドコンピューティング		
報	マルチメディア表現及 び技術(実習を含む。)		マルチメディア 表現及び技術 (実 習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設)◎マルチメディアシステム,◎プログラミング演習Ⅱ,ディジタルドキュメント,情報デザインとインタフェース,マークアップ言語		
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (知識情報・図書館学類開設) インターンシップ		
	合 計 (高校一種)	2 0				

⁽注) 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

大学において修得すべき図書館に関する科目

	図書館法施行規則に気	定める科目	本学における開設技					
区分	科目	単位数	授業科目	単位数	開設学群 ・学類等	備	Î	考
	生涯学習概論	2	生涯学習と図書館	2				
	図書館概論	2	図書館概論	2				
	四 事於地 库 勿 坐 补	0	パブリックガバナンス (2016 年度 ~)	2				
甲群	図書館制度・経営論	2	経営・組織論(~2015 年度) 図書館情報法制度論	2 2		2 履	科	目を修
	図書館情報技術論	2	情報基礎	2	_			
必修	図書館サービス概論	2	情報サービス経営論	2	_			
11科目	情報サービス論	2	情報探索論 情報サービス構成論	2 2				てか 選択
•	児童サービス論	2	読書と豊かな人間性	2				
22 単 位	情報サービス演習	2	知識情報演習Ⅱ 情報基礎実習	2		2 履	科	ョ ョ を 修
	図書館情報資源概論	2	コレクションとアクセス	2	知識情報・ 図書館学類			
	情報資源組織論	2	知識資源組織化論	2				
	情報資源組織演習	2	知識情報演習Ⅱ 知識情報演習Ⅲ	2 2		2 履	科	目を修
	図書館基礎特論	1	図書館論	2				
乙	図書館サービス特論	1	ディジタルライブラリ	2	_			
群 選択 2	図書館情報資源特論	1	日本図書学 中国図書学 知識資源の分析 知識資源の用語管理	2 2 2 2				てか 選択
科目・の			学術メディア論 ディジタルドキュメント	2 2 2		1 /	1 11	XZ 1//
2単位	図書・図書館史	1	図書館文化史論	2				
2単位以上	図書館施設論	1	図書館建築論	2				
	図書館実習	1	インターンシップ	2				

(備考) 司書資格を取得した者には「資格取得証明書」を発行します。卒業後に教育推進課に申し込んでください。 他学で修得した単位と合算して司書資格を取得する場合は、本学で修得した図書館に関する科目について「単位修得証明書」 を発行します。

大学において修得すべき司書教諭講習に相当する科目

学校図書館司書教諭講習規程に 科目	定める	本学における開設授業	備考		
科目	単位数	授 業 科 目	単位数	開設学類	
学校経営と学校図書館	2	学校図書館論	2		
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成	2	ا المارية الم	
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	2	知識情報· 図書館学類	
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	四目如丁炔	
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	2		

(備考)

司書教論講習に相当する科目として修得した単位は、各学群の履修細則の定めるところにより、卒業要件の単位として算入できます。

司書教諭の資格を取得するためには、司書教諭講習に相当する科目を全て修得した後に、学校図書館法第5条第3項の規定に基づく「学校図書館司書教諭講習」に、書類参加の手続きが必要です。手続方法については、掲示でお知らせします。

大学が単位を与える学修一覧

検 定 名	対象となる級等	認定対象科目
(財)日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定	1級・準1級	総合英語
TOEFL		(1.5単位)
ペーパー版テストの点数	550点以上	※注 1
コンピュータ版テスト	2 1 3 点以上	
インターネット版TOEFL	79点以上	
TOEIC	730点以上	
(財) ドイツ語学文学振興会が実施するドイツ語技能検定	1級・準1級・2級・3級	ドイツ語基礎A, B
ゲーテ・インスティトゥートが実施する検定試験	基礎統一試験以上	(1.5単位)
(財)フランス語教育振興協会が実施する	1級・準1級・2級・3級	フランス語基礎A, B
実用フランス語技能検定		(1.5単位)
ロシア語検定試験実行委員会が実施する	第4・第3・第2・第1・基礎	ロシア語基礎A, B
ロシア語検定試験		(1.5単位)
(財)日本スペイン協会が実施するスペイン語技能検定	1級・2級・3級・4級・5級	スペイン語基礎A, B
		(1.5単位)

- (注) 1 実用英語技能検定及びTOEFL又はTOEICは、いずれか1つの試験についてのみ認定する。
 - 2 この表に掲げるもののほか、専門基礎科目及び専門科目として認定する単位は、45 時間の学修をもって 換算する単位とする。
 - 3 共通科目等開設組織等において定める基準を最低の基準とし、それ以上の基準により各学類・専門学群において与えることができる単位を表す。
 - 4 ゲーテ・インスティトゥートが実施する検定試験の「基礎統一試験」以上の試験とは「職業ドイツ語 検定試験」「ドイツ語中級統一試験」「国際ビジネスドイツ語検定試験」「ドイツ語上級統一試験」 「ドイツ語小ディプロム試験」及び「ドイツ語大ディプロム試験」を表す。
 - 5 ロシア語検定における認定の基準は、検定試験結果の基礎レベル以上とする。 (第4レベル、第3レベル、第2レベル、第1レベル及び基礎レベル)

テクニカルコミュニケーター専門課程に対応した開設科目一覧

TC 専門課程における分野		知識情報・図書館学類における開設科目		
知能と能力の分野	単位数	科目名	単位数	
TC 基礎	2	テクニカルコミュニケーション	2	
情報収集と分析	2	量的調査法	2	
		質的調査法	2	
企画・設計	2	知識発見基礎論	2	
情報アーキテクチャー	2	情報基礎	2	
		情報システム概説	2	
		ディジタルドキュメント	2	
制作管理・ディレクション	2	知識科学実習	2	
		知識情報システム実習	2	
		情報資源経営実習	2	
デザイン・表現設計	2	知識情報演習 II	2	
		情報デザインとインタフェース	2	
ライティング	2	情報基礎実習	1	
		情報リテラシ実習	1	
英文ライティング	2	専門英語 B	1	
		専門英語 C	1	
周辺分野	2	知的財産概論	2	
		国際インターンシップ	2	

テクニカルコミュニケーター専門課程は複数の分野から構成されており、上の表には、各分野に対応する知識情報・図書館学類の開設科目が示してあります。各分野の必要単位数を充足するよう表中の 18 単位以上の開設科目を履修し、協会に申請することで、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定証を得ることができます。ただし、2012 年度以降の履修であることが必要です。また、テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定は他大学で取得した単位を合わせての申請も可能です。

索引

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
1	いけうち ぁっし 池内 淳	Ikeuchi Atsushi	准教授	7D413	atsushi@slis	公共経済学 情報サービス経営論	
2	いしい かまり 石井 夏生利	Ishii Kaori	准教授	7D509	kaoriish@slis	情報社会と法制度情報法	
3	いつむら ひる!	Itsumura Hiroshi	教授	7D313	hits@slis	情報基礎実習-1,-2	
		Itsumura Tinosin			_	学術情報基盤論 知識情報概論	
4	宇陀 則彦	Uda Norihiko	准教授	7D210	uda@slis	ディジタルライブラリ ディジタルキュレーション	
						プログラミング演習II-3	
5	大澤 文人	Osawa Fumito	助教	7D115	osawa@slis	多変量解析 インターンシップ	
	おおげ いたろう					情報メディアの活用 経営・組織論	
6	八座 時	Ohba Ichiro	講師	7D113	iohba@slis	情報サービス構成論	
7	小泉公乃	Koizumi Masanori	助教	7D310	koizumi@slis	情報基礎実習-1,-2 パブリックガバナンス	
8	ごとう よしひろ 後藤 嘉宏	Goto Yoshihiro	教授	7D513	ygoto@slis	メディア社会学 メディア社会文化論	
	さかぐち てつお		VII. 461. 1053	70212	1.05	コンピュータシステムとネットワーク Webプログラミング	
9	阪口 哲男	Sakaguchi Tetsuo	准教授	7D312	saka@slis	Webプログラミング 知的探求の世界II-5	
						情報システム概説 テキスト処理	
10	佐藤 哲司	Satoh Tetsuji	教授	7D205	satoh@slis	知的探求の世界I-2	専攻長
						知的探求の世界II-2 学校図書館メディアの構成	
11	さんなみ ちほみ 三波 千穂美		講師	7D302	sannami@slis	テクニカルコミュニケーション サイエンスコミュニケーション	4-4担任
11	二波 十槵美	Sannami Chihomi	Dhi-tuli	7D302	Samani (23113	知識情報特論III	4-47517
						知識情報特論IV 知識情報演習II-2	
12	じょうほ ひでお		744-344-455	70400	1:1 @ 1:	知識情報演習III-1	4 2 + 11 / 1
12	上保 秀夫	Joho Hideo	准教授	7D408	hideo@slis	レファレンスサイエンス 知識情報特論III	4-3担任
						知識情報特論IV テクスト解釈-1	
13	しらい てっゃ 白井 哲哉	Shirai Tetsuya	教授	7D407	tetsushi@slis	アーカイブズの構築	
14	^{すずき かなえ} 鈴木 佳苗	Suzuki Kanae	准教授	7D112	kanae@slis	ディジタルキュレーション (サバティカル)	
		Suzuki ikunuc	VI #L165	70204	1:01:	情報基礎	
15	鈴木 伸崇	Suzuki Nobutaka	准教授	7D204	nsuzuki@slis	知識情報演習I-2 データ表現と処理	
16	関 洋平	Seki Yohei	准教授	7D213	yohei@slis	自然言語解析基礎 情報検索システム	3-2担任
17	高久 雅生	Takaku Masao	准教授	7D208	masao@slis	統計 ディジタルドキュメント	3-3担任
18	4 4. 5	Tamura Hajime	准教授	7D311	tamura@slis		
19	った けいた 辻 慶太	Tsuji Keita	准教授	7D512	keita@slis	情報探索論 知識形成論	
	つじ やすあき 辻 泰明	Tsuji Yasuaki	教授	7D514	tsujiy@slis	専門英語C-3	2-2担任
	上 水引	1 Suji 1 asuaki				映像メディア論 知識情報演習I-1	
21	Tづか た ろう 手塚 太郎	Taro Tezuka	准教授	7D215	tezuka@slis	データベース概説 国際インターンシップ	
						ソフトウェア工学	
22	照山 絢子	Teruyama Junko	助教	7D305	teruyama@slis	質的調査法 知識コミュニケーション	
23	ときい まき 時井 真紀	Tokii Maki	講師	7D203	tmaki@slis	プログラミング演習I-1,-2 情報デザインとインタフェース	2-4担任
24	としもり あつし 歳森 敦	T. 1:	教授	学類長室	tosimori@slis	体験型システム開発A 体験型システム開発B	学類長
		Toshimori Atsushi	积灯文	丁炽灭王	waimon(waiia	コミュニティ情報論	于炽区
25	ざんかい さおり 呑海 沙織	Donkai Saori	教授	7D403	donkai@slis	知識情報演習I-1,-2 図書館文化史論	
	なかやま しんいち					フレッシュマン・セミナー情報リテラシ実習	
26	なかやま しんいち 中山 伸一	Nakayama Shin-ichi	教授	7D410	nakayama@slis	知識発見基礎論	1-1担任*
27	#### WEUC 長谷川 秀彦	TT 77'''	教授	学群長室	hasegawa@slis	知識構造化法 グローバルチャレンジ演習	学群長
		Hasegawa Hidehiko	2/1/	丁卯八王		データマイニング 知識情報演習II-1,-2	于什么
28	はら あつゆき 原 淳之	Hara Atsuyuki	助教	7D406	ahara@slis	国際インターンシップ	
	<u> </u>	1	ļ	<u> </u>		図書館論	ļ

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
29	バールィシェフ エドワルド	Baryshev Eduard	助教	7D415	baryshev@slis	専門英語B-2 インターンシップ アーカイブズの利用 ディジタルキュレーション	
30	ひらくえ ゅうじ 平久江 祐司	Hirakue Yuji	教授	7D404	hirakue@slis	学習指導と学校図書館 学校図書館論 インターンシップ 知識情報特論III 知識情報特論IV	4-2担任
31	まえしる てつや 真栄城 哲也	Maeshiro Tetsuya	准教授	7D409	maeshiro@slis	プログラミング演習II-1,-2 生命情報学 知識情報特論III 知識情報特論IV	4-5担任
32	^{まつばやし} ま み こ 松林 麻実子	Matsubayashi Mamiko	講師	7D111	mamiko@slis	情報行動論 インターンシップ 学術メディア論	3-5担任
33	まつむら あつし 松村 敦	Matsumura Atsushi	助教	7D212	matsumur@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 プログラミング演習I-1,-2 専門英語C-2 情報サービスシステム	1-2担任
34	^{まつもと} こういち 松本 浩一	Matsumoto Koichi	教授	7D301	matsuko@slis	テクスト解釈-2 中国図書学	
	まつもと まこと 松本 紳	Matsumoto Makoto	教授	系長室	amy@slis	マルチメディアシステム	系長
	みずしま 私いじ, 水嶋 英治	Mizushima Eiji	教授	7D303	mizushima@slis	知識情報演習III-2 知識資源組織化論 国際インターンシップ 知識資源の記述 ディジタルキュレーション 知識情報特論III 知識情報特論IV	4-1担任*
37	みぞうえ ちぇこ 溝上 智恵子	Mizoue Chieko	教授	研究科長室	mizoue@slis	生涯学習と図書館 国際インターンシップ 教育文化政策	研究科長
38	みどりかわ のぶゆき 緑川 信之	Midorikawa Nobuyuki	教授	7D306	midorika@slis	知識情報演習III-1 知識資源組織化論 知識資源の分析	
39	むらい まいこ 村井 麻衣子	Murai Maiko	准教授	7D506	myco@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 知的財産概論 知的財産権論A	1-3担任
40	もりつぐ Lpういち 森継 修一	Moritsugu Shuichi	教授	7D214	moritsug@slis	基礎数学B データ構造とアルゴリズム	
41	ゅ はいたお 于 海涛	Yu, Haitao	助教	7D316	yuhaitao@slis	プログラミング演習II-1, -2 知識情報演習III-2 国際インターンシップ 専門英語C-1	
42	よう しょうゆ 叶 少瑜	Ye, Shaoyu	助教	7D206	shaoyu@slis	量的調査法 ソーシャルメディア分析	
43	はこやま みきこ 横山 幹子	Yokoyama Mikiko	准教授	7D405	mikiko@slis	哲学知識論	3-4担任
	standa sape 芳鐘 冬樹	Yoshikane Fuyuki	教授	7D414	fuyuki@slis	知識情報演習II-1 専門英語B-1 情報評価	2-1担任*
45	ましだ ゆうこ 吉田 右子	Yoshida Yuko	教授	7D116	yyoshida@slis	図書館概論 インターンシップ コレクションとアクセス	3-1担任*
46	ロー、パトリック	Lo, Patrick	准教授	7D315	plo@slis	専門英語B-3 Comparative Study on Library and Information Services	
47	おかばやしけい 若林 啓	Wakabayashi Kei	助教	7D207	kwakaba@slis	フレッシュマン・セミナー 情報リテラシ実習 情報数学 クラウドコンピューティング	1-4担任
48	わたぬき とよあき 綿抜 豊昭	Watanuki Toyoaki	教授	7D511	wata@slis	テクスト解釈-3 日本図書学	センター長 2-3担任
49	おちあい よういち 落合 陽一	Ochiai Yoichi	助教	7D515	wizard@slis	メディアアート	兼担教員
50	もりしま あつゆき 森嶋 厚行	Morishima Atsuyuki	教授	7D507	mori@slis	データベース技術	兼担教員
51	いわまる よしあき 岩丸 良明	Iwamaru Yoshiaki	非常勤講師	=	学群教務に照会	経営情報システム論	
52	えのまえ としはる 江前 敏晴	Enomae Toshiharu	教授	_	学群教務に照会	ディジタルキュレーション	
53	かかべ とおる 河辺 徹	Kawabe Toru	教授	3F825	kawabe@cs	ビジネスシステムデザインA ビジネスシステムデザインB	

	氏名		職位	研究室	メールアドレス	担当科目	その他
54	が きに 嵯峨 智	Saga Satoshi	准教授	3F804	saga@cs	ビジネスシステムデザインA ビジネスシステムデザインB	
55	きたう こう 佐藤 功	Koh Sato	非常勤講師	ĺ	学群教務に照会	基礎数学A	
56	高橋 伸	Takahashi Shin	准教授	3F906	shin@cs	ヒューマンインタフェース	
57	ながもり みつはる 永森 光晴	Nagamori Mitsuharu	講師	7D412	nagamori@slis	マークアップ言語	
58	のぐち くみこ 野口 久美子	Noguchi Kumiko	非常勤講師	ĺ	学群教務に照会	読書と豊かな人間性	
59	長谷部 郁子	Hasebe Ikuko	非常勤講師	ĺ	学群教務に照会	専門英語A-1,-2	
60	^{はやせ} *すひろ 早瀬 康祐	Hayase Yasuhiro	助教	3F925	hayase@cs	ビジネスシステムデザインA ビジネスシステムデザインB	
61	ʊśゅ 平湯 あつし	Hirayu Atsushi	非常勤講師	ĺ	学群教務に照会	テクニカルコミュニケーション	
62	ポーリー, マーティン	Pauly, Martin Edmund	非常勤講師	ĺ	学群教務に照会	専門英語A-3, -4	
	ましこ かずひこ 益子 一彦	Mashiko Kazuhiko	非常勤講師		学群教務に照会	図書館建築論	
64	^{まつばやし みちお} 松林 道雄	Matsubayashi Michio	非常勤講師	ĺ	学群教務に照会	基礎数学A	
65	かたなべ ちえみ 渡辺 知恵美	Watanabe Chiemi	助教	3F803	chiemi@cs	ビジネスシステムデザインA ビジネスシステムデザインB	

^{*}メールアドレスのドメイン部は「.tsukuba.ac.jp」を省略. 例えば「gakumu-k@slis」は「gakumu-k@slis.tsukuba.ac.jp」が正しいメールアドレスです. 非常勤講師へは原則として授業の前後に会うか, 学群教務を経由して連絡してください.

科目名索引

(A-Z)	情報経済論
Comparative Study on Library and Information	情報検索システム124, 137
Services165	情報行動論65
Web プログラミング138	情報サービス経営論159
〔あ行〕	情報サービス構成論162
アーカイブズの構築135, 177	情報サービスシステム130
アーカイブズの利用134, 178	情報資源経営実習155
インターンシップ91	情報システム概説41
映像メディア論173	情報社会と法制度27
〔か行〕	情報数学39
学習指導と学校図書館87	情報探索論63
学術情報基盤論157	情報デザインとインタフェース142
学術メディア論116	情報評価121
学校図書館メディアの構成88	情報法170
学校図書館論169	情報メディアの活用90
基礎数学 A43	情報リテラシ実習26
基礎数学 B60	生命情報学125
教育文化政策167	専門英語 A-156
クラウドコンピューティング147	専門英語 A-257
グローバルチャレンジ演習28	専門英語 A-358
経営情報システム論133, 158	専門英語 A-459
経営・組織論74	専門英語 B-195
公共経済学72	専門英語 B-296
国際インターンシップ92	専門英語 B-397
コミュニティ情報論117	専門英語 C-198
コレクションとアクセス164	専門英語 C-299
コンピュータシステムとネットワーク69	専門英語 C-3100
〔さ行〕	ソーシャルメディア分析119
サイエンスコミュニケーション109	卒業研究103
自然言語解析基礎70	ソフトウェア工学151
質的調査法64	〔た行〕
生涯学習と図書館73	体験型システム開発 A80, 93
情報基礎31	体験型システム開発 B81,94
情報基礎実習-132	多変量解析62
情報基礎実習-233	知識科学実習107

知識形成論111	テキスト処理	148
知識構造化法120	テクスト解釈-1	76
知識コミュニケーション114	テクスト解釈-2	77
知識資源組織化論67	テクスト解釈-3	78
知識資源の記述146	テクニカルコミュニケーション	108
知識資源の分析145	哲学	30
知識資源の用語管理	統計	40
知識情報演習 I-148	読書と豊かな人間性	89
知識情報演習 I-250	図書館概論	42
知識情報演習 II-152	図書館建築論	118
知識情報演習 II-253	図書館文化史論	174
知識情報演習 III-154	図書館論	156
知識情報演習 III-255	〔な行〕	
知識情報概論29	日本図書学	176
知識情報学特別講義 I-	[は行]	
知識情報学特別講義 Ⅱ-	パブリックガバナンス	160
知識情報システム実習129	ビジネスシステムデザイン A	82
知識情報特論 III101	ビジネスシステムデザイン B	84
知識情報特論 IV102	ヒューマンインタフェース	143
知識発見基礎論66	フレッシュマンセミナー	25
知識論110	プログラミング演習 I-1	34
知的財産概論47	プログラミング演習 I-2	35
知的財産権論 A172	プログラミング演習 II-1	36
知的探求の世界 I-1181	プログラミング演習 II-2	37
知的探求の世界 I-2182	プログラミング演習 II-3	38
知的探求の世界 II-2184	〔ま行〕	
知的探求の世界 II-5186	マークアップ言語	150
中国図書学175	マルチメディアシステム	139
ディジタルキュレーション136	メディアアート	144
ディジタルドキュメント131	メディア教育の実践と評価	168
ディジタルライブラリ132	メディア社会学	71
データ構造とアルゴリズム123,149	メディア社会文化論	115
データ表現と処理140	(ら行)	
データベース概説68	量的調査法	61
データベース技術141	レファレンスサイエンス	113
データマイニング122		

MEMO